

神奈川県平塚市における汚染土壌等の処理の状況について

環境省では、平成16年1月から平塚市にかつて存在した旧相模海軍工廠化学実験部の跡地周辺において環境調査を行っています。平成17～18年度にかけて、これまで得られた地歴情報に基づき、表層土壌調査を実施した結果、有機ヒ素化合物による汚染土壌および有機ヒ素化合物の原体と考えられる白い塊が発見されました。

この調査結果を踏まえ、将来における環境リスク低減の観点から、有機ヒ素に汚染された土壌等については、環境省において、掘削、除去、処理等を行うこととしたところです。

汚染土壌等の掘削、除去、および処理の業務は、平成19年6月から準備作業に入り、平成20年3月末までに全ての作業を終了する予定で実施しています。また、汚染土壌等を扱う作業については全て飛散防止テント内で行うなど、周辺環境に十分配慮して業務を進め

p1

現時点における作業の進捗状況については次のとおりです。

1. 汚染土壌等の掘削除去量

汚染土壌等の掘削除去量は、平成20年2月8日現在の累計で約1,611トンであり、掘削予定量の概ね2,000トンに対し、約8割の進捗となっております。

2. 掘削除去現場の周辺環境モニタリングについて

作業はテント内で実施していますが、テントからの排気（集じん装置出口）の粉じん濃度についても念のためモニタリングを実施しています。テント排気の粉じん濃度は、掘削除去作業中の全ての測定データで環境基準に適合していました。